

「墨田区地域力育成・支援計画」の改定の考え方について

1 計画改定の主旨等

(1) 計画改定の主旨

区では、地域力向上・育成の考え方と施策の方向性を明らかにし、区を挙げて地域力の向上に取り組むことを目的に、令和元年 6 月に「墨田区地域力育成・支援計画」を策定（令和 5 年 3 月に中間改定）した。

今回、計画期間が終了することから、これまでの成果や課題、さらに令和 7 年度に実施した「全町会・自治会実態調査」及び「地域団体アンケート調査」の結果等を踏まえ、計画の改定を行う。

(2) 計画の位置付け

「墨田区基本計画」の“夢”実現プロジェクトで掲げる「暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまち」の実現に向けて、地域力を高める取組を全庁的に推進していくため、地域力向上の基本的な考え方及び施策を具体的に定めた計画である。改定においては、区の上位計画である「墨田区基本構想」及び「墨田区基本計画」の方針を踏まえるとともに、部門別計画との整合を図る。

(3) 計画期間

令和 9 年度から令和 18 年度までの 10 か年計画とする。

2 計画の検討

当該計画の改定に当たり、学識経験者、団体等関係者、公募区民で構成する墨田区地域力育成・支援計画改定に係る外部委員会を組織して内容を検討する。

3 計画改定の方向性

別添『「墨田区地域力育成・支援計画」の改定の方向性について』を参照

4 今後のスケジュール（予定）

令和 8 年 12 月 11 月議会地域産業都市委員会への報告（計画案）

パブリックコメントの実施（令和 9 年 1 月まで）

令和 9 年 3 月 2 月議会地域産業都市委員会への報告（最終報告）

1 現行計画の評価

● 現行計画では、施策の目標 1～4 を設定し、それぞれについて 2～3 つの成果を測る指標を設けている。目標達成に向けて、全162事業を推進しているが、令和 7 年度の達成状況は以下のとおりである。

施策の目標 1 地域を支える意識の醸成					施策の目標 3 活動の場の充実				
指標	基準値（年度）	目標値（R 7）	現状値（R 7）	評価区分	指標	基準値（年度）	目標値（R 7）	現状値（R 7）	評価区分
「過去 1 年に地域の行事や社会活動に参加した」区民の割合	22.7%（R 2）	50.0%	40.2%	B	「地域の交流やさまざまな活動をする場や機会が提供されている」と思う区民の割合	56.4%（R 2）	80.0%	76.8%	B
町会・自治会加入世帯数及び加入世帯率	99,789 世帯・64.0%（R 3）	106,400 世帯・64.0%	99,246 世帯・58.0%	B	コミュニティ施設の利用者数	249,018 人（R 3）	420,000 人	438,766 人	A
施策の目標 2 地域力の担い手の育成強化					施策の目標 4 活動支援の仕組みの整備				
指標	基準値（年度）	目標値（R 7）	現状値（R 7）	評価区分	指標	基準値（年度）	目標値（R 7）	現状値（R 7）	評価区分
「現在ボランティア活動・地域活動をしている」区民の割合	10.1%（R 2）	25.0%	13.2%	C	「地域力育成・支援事業」で実施する講座・ワークショップへの延べ参加者数	429人（R 3）	1,020人	1,093人	A
「区と一緒に、区の事業やイベントなどを企画したり、実施したことがある」区民の割合	7.0%（R 2）	30.0%	7.2%	C	「協治（ガバナンス）まちづくり推進基金」による延べ助成団体数	78団体（R 3）	113団体	117団体	A
					【再掲】「現在ボランティア活動・地域活動をしている」区民の割合	10.1%（R 2）	25.0%	13.2%	C



※評価区分 A：目標に達している B：目標には達しなかったが概ね 8 割以上の目標値に達している C：目標に達していない

全体として、「目標に達している」又は「目標の概ね8割に達している」ことから、地域力の向上に一定の効果があつた。
ただし、施策の目標2「地域力の担い手の育成強化」については、いずれの指標も目標に達しておらず、今後も重点的に取り組む必要がある。

2 基本理念（案）

人のつながりが重なり広がって、地域の未来を紡ぐまち

- つながりの輪が広がることで地域での活動が盛んになり、区に関わる人・団体が共に地域の未来をつくり出している。
- 区に関わる人・団体それぞれの状況や意向に応じて活動する機会があり、地域の力が発揮できるまちになっている。

3 地域力育成・支援に係る課題と施策の目標（案）

課題（令和 7 年度実施の「全町会・自治会実態調査」及び「地域団体アンケート調査」結果等から主なものを抽出）			施策の目標（案）	
◆地域団体の課題は、「若手人材が不足している」「メンバーの高齢化が進んでいる」が 4 割超で上位を占めている。	▶▶▶	地域を知り・地域に関わる意識醸成や、地域力の担い手づくり	① 地域力を育てる	
◆「未加入世帯が多い」という町会・自治会の割合は45.6%で令和 3 年度からも上昇しており、実際に加入世帯率は低下傾向にある。	▶▶▶	地域力発揮する活動の場の提供や、各種助成・情報提供など	② 地域力を支える	
◆区との協力によるまちづくりが重要だと思う割合は約 9 割以上、また「関わりたい」層も約 6 割と高いが、「過去1年に地域の行事や社会活動に参加した」区民の割合は約 4 割にとどまり、意識と行動に乖離がある。	▶▶▶	交流機会の創出や活動のコーディネートなど	③ つながりを重ねる・広げる	
◆地域団体が求める支援としては「助成制度の拡充」が60.8%で最も高く、さらに「広報に関する支援（区の情報紙やSNSへの掲載等）」が44.2%で上位を占めており、「活動場所の拡充」も28.3%と高い。	▶▶▶			
◆SNSで情報発信をしている地域団体は 4 割未満、特に60歳以上中心の団体が低い。	▶▶▶			
◆町会・自治会のデジタルツールの活用について、SNSによる情報発信は10.1%、掲示板・回覧板のデジタル化は8.3%と低い。一方で、「将来的には利用したい」との回答は、それぞれ31.4%と40.8%となり、活用意向も見られる。	▶▶▶			
◆「協治（ガバナンス）まちづくり推進基金」による助成団体の延べ数は令和 3 年度（78団体）から令和 7 年度（117団体）と毎年増加している一方、他団体等との協力関係について、「特にない」が25.8%となっている。	▶▶▶			
◆町会・自治会の運営に関する課題では、「新旧住民の交流が難しい」が50.9%、「世代間交流が難しい」が44.4%となっている。	▶▶▶			
◆地域団体へのヒアリング調査では、担い手の輪を広げていく上で、人とのつながり・交流機会がほしいという声があつた。	▶▶▶			